

平成27年度
事業計画書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益社団法人 全日本銃剣道連盟

I. 基本方針及び重視事項

1. 基本方針

公益社団法人全日本銃剣道連盟（以下全銃剣連という）は、スポーツ基本法、武道憲章及び銃剣道修行の指標に則り、銃剣道・短剣道（以下銃・短剣道という）の普及振興を図る事業を行い、国民の体力向上と健全な人間形成に寄与する。

2. 重視事項

（1）会員数の増大

会員数の減少は、全銃剣連存亡の危機であることを認識し、会員数増大の3本柱（新規加入者獲得、会員メリットの提供、会員の掘り起こし）を全銃剣連上げて実行する。

新規加入者獲得においては、青少年・女性への拡大の他、自衛隊基本教育における銃・短剣道の奨励を努力する。

会員へのメリット提供においては、称号、段位、審判資格の受審奨励により銃・短剣道の修行・向上努力の機会を提供する他、新人戦などの開催による地方大会の活性化、研修会・稽古会への参加奨励などにより、初心者から熟練者までの多くの会員が充実感を味わうことができる機会を提供する。

会員の掘り起こしにおいては、OB会における勧誘、稽古会・教室・道場への勧誘、地方大会の活性化により、元会員の再入会、賛助会員への勧誘を重視する。

会員獲得にあたっては、会員該当者の所属先における銃・短剣道の立場を十分に理解・認識し、節度をもって信頼関係を構築した上で、銃・短剣道の目的（指導の指標）、全銃剣連・各都道府県連の使命や施策、会員のメリットなどを誠実・丁寧かつ粘り強く説明し、武道としての銃・短剣道について理解を深めつつ入会を勧誘する。

（2）銃・短剣道に関する指導者及び審判の育成

指導者及び審判の育成は、銃・短剣道の現在及び将来の命運を担う基幹となる人材を育成する重要事業であり、研修会への参加推奨、高段位・称号受審の奨励等により、指導能力及び審判能力の向上と人格の陶冶を図る。

本年度は、短剣道教則を改正し、普及徹底を図る。また、銃剣道・短剣道青少年指導者講習会（5月）に高段者研修会を統合して開催するとともに、8段審査会をA級審判員審査会と同日（1月）に開催し、受講者や受審者が参加し易いよう条件を整備する。

（3）青少年の育成強化、特に国民体育大会少年種別への全県参加

青少年の育成強化は、青少年の人格形成に寄与するとともに、会員の裾野拡大及び将来要員の育成のため、極めて重要な事項である。青少年育成拠点の維持・増加、競技会への参加奨励により青少年の育成強化を図る。

特に、国民体育大会少年種別への全県参加は、国体毎年実施競技復活の必須事項であることを深く理解し、必ず達成するとともに、全日本少年少女錬成大会、全国高校生大会については、選手が参加資格保有期間に一度は当該大会に参加できるよう努力を図る。

(4) 中学校武道必修化への銃剣道参入施策の推進

中学校における銃剣道の授業化は、銃・短剣道が現代武道として存立する証である。あらゆる困難を克服し、都道府県連盟等による中学校等に対する銃剣道授業採用調整努力及び全銃剣連による指導基盤の整備努力の継続実施により、授業化が実現するまで努力を継続する。このため、授業化実現校への用具等支援、表彰等を計画する。

(5) 全国都道府県対抗銃剣道大会の具体的準備の推進

本大会は、銃剣道の国体隔年実施競技化により生じた大会であり、その目的は、銃剣道に関する競技力の維持向上と大会運営能力、特に審判能力の維持向上である。また、全銃剣連としての銃剣道国体毎年競技復活への意思表示でもある。本年度は、開催地を決定し、具体的準備を実施する。

(6) 全銃剣連創立 60 周年（平成 28 年）記念事業の準備

全銃剣連は、平成 28 年に創立 60 周年を迎える。本年度は、記念事業を決定して、具体的準備を推進する。

II. 事業内容

1. 全日本銃剣道選手権大会及びその他の競技大会の開催

(1) 高松宮記念杯争奪第 23 回全日本銃剣道選手権大会

- ・開催年月日：平成 27 年 8 月 7 日（金）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手：64 名を予定
- ・県等で選手を派遣できない場合は、その出場枠を当該ブロックからブロック選抜選手として出場させることができる。

(2) 第 59 回全日本銃剣道優勝大会

- ・開催年月日：平成 27 年 4 月 19 日（日）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：1,200 名を予定

(3) 第 46 回全日本青年銃剣道大会

- ・開催年月日：平成 27 年 8 月 6 日（木）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：1,350 名を予定

(4) 第 27 回全国高校生銃剣道大会

- ・開催年月日：平成 27 年 7 月 25 日（土）
- ・開催場所：宮城県岩沼市総合体育館
- ・参加選手・監督：400 名を予定

(5) 第 15 回全日本短剣道大会

- ・開催年月日 : 平成 28 年 2 月 14 日 (日)
- ・開催場所 : 日本武道館
- ・参加選手・監督 : 430 名を予定

(6) 平成 27 年度全日本少年少女武道 (銃剣道) 錬成大会

- ・開催年月日 : 平成 27 年 8 月 5 日 (水)
- ・開催場所 : 日本武道館
- ・参加選手・監督 : 350 名を予定

(7) 第 70 回国民体育大会銃剣道競技会

- ・開催期間 : 平成 27 年 10 月 3 日 (土) ~ 5 日 (月)
- ・開催場所 : 和歌山県海南市総合体育館
- ・参加選手・監督 : 193 名
- ・役員数 : 80 名
- ・少年男子の部ブロック予選会に欠場した県連盟からは国体審判員は出さない。

(8) 競技大会参加者等の要件

- ・全銃剣連が計画する競技大会に出場する選手・監督・コーチは、平成 26 年度の連盟会員であり、当該年度の会費を完納した者に限る。ただし、全日本少年少女錬成大会・全国高校生大会は除く。
- ・国民体育大会の競技種目別に参加するチームの監督・コーチは、(公財) 日本体育協会公認スポーツ (銃剣道) 指導員以上の有資格者とする。
- ・全銃剣連が主催し、日本武道館で開催する競技大会の審判主任は、名誉審判員とする。

2. 銃剣道及び短剣道に関する調査、研究及び教則の制定と競技規則・審判規則の統一。講習会・研修会の開催と指導員・審査員の派遣

(1) 銃剣道・短剣道青少年指導者講習会

- ・目的 : (公財) 日本武道館との共催により講習会を開催し、青少年指導者及び高段保有者の銃・短剣道に関する識見、指導能力及び技倆の向上を図る。
- ・開催時期 : 平成 27 年 5 月 22 日 (金) ~ 24 日 (日)
- ・開催場所 : 日本武道館研修センター

(2) A 級審判員研修会

- ・目的 : A 級審判員資格保有者及び同受審資格者に対し研修会を開催し、審判理論の精通及び審判技術の向上を図るとともに、A 級審判員としての権威と資質を養成する。
- ・開催時期 : 平成 28 年 1 月 29 日 (金) ~ 30 日 (土)
- ・開催場所 : 日本武道館研修センター

(3) ブロック研修会

- ・ 目的：全国の銃・短剣道及び審判法に関する知識・技能の均衡的発展を図るため、ブロックごとの研修会を実施する。
- ・ 日程・内容等：各ブロックの計画による。高段者（6・7段対象）の段位審査は研修会最終日又は研修会翌日に行う。

(4) 第2回全国銃剣道指導者研修会

- ・ 目的：日本武道館との共催により研修会を開催し、学校教員への銃剣道指導能力の普及を図るとともに、女子、外部指導者候補となる地域指導者、ブロック指導員の技倆及び指導能力の向上等、銃・短剣道に関する指導者の能力向上と幅広い分野への指導者拡大を図る。
- ・ 参加対象：学校教員、女子指導者、外部指導者となる各地域指導者、ブロック指導員等
- ・ 開催時期：平成27年11月13日（金）～15日（日）
- ・ 開催場所：日本武道館研修センター

(5) 国内強化合宿

- ・ 目的：JOC（（公財）日本オリンピック委員会）委託事業として各ブロックで開催し、高校生・中学生の銃・短剣道に関する技倆を向上させ、心身とも健全な人材育成を図る。
- ・ 開催時期・場所：各ブロックの計画による。

(6) （公財）日本体育協会公認銃剣道指導者養成講習会

- ・ 目的：日本体育協会公認の上級スポーツ指導員（銃剣道）受験資格者及び公認スポーツ指導員（銃剣道）受験資格者に対し銃剣道に関する講習会を実施し、資格の取得更新に寄与する。
- ・ 公認上級スポーツ指導員銃剣道専門科目講習会（30時間）
 - 受講希望者の事前調査により、受講希望者12名以上の場合実施する。
- ・ 公認スポーツ指導員銃剣道専門科目講習会（40時間）は年2回開催する。
 - 平成27年10月31日（土）～11月3日（火）、北海道千歳市
 - 受講者希望者が20名以上の場合に行う。実施時期・場所は別途通知する。

(7) 指導員派遣事業

- ・ ブロック及び県連盟等が研修会を計画し、指導員等の派遣を必要とする場合及び県教育委員会等から強化指定校の指導員の派遣を要請された場合は、指定講師を派遣するよう努力する。
- ・ ブロック研修会に対しては、ブロック指導員を派遣する。
- ・ 日本武道館及び全国都道府県立武道協議会加盟武道館と共催で行う地方青少年武道（銃剣道）錬成大会に対しては、全銃剣連が指定したブロック指導員2名を派遣する。

(8) 国際交流事業

- ・ 日本武道協議会が計画する日本武道代表団への会員派遣、国際武道セミナーへの参加等の他、海外に対する銃・短剣道紹介活動を積極的に推進する。

(9) 銃剣道・短剣道に関する調査、研究

- ・競技力向上委員会により、銃・短剣道に関する基本問題の研究、競技力を高めるための応用技の研究、女性に対する教育指導・健康指導・護身的要素の指導、年齢別・性別ごとの身体トレーニング法の実践等について調査、研究を継続して行う。
- ・中学校武道必修化に対応した指導の手引きの作成、教員・外部指導員の養成、参考資料、DVD等の研究を継続的に行う。
- ・ドーピング防止委員会、医学・安全委員会により、ドーピング防止活動及び医学・安全活動に関する資料収集を行い、ガイドライン・マニュアル等の作成や啓発教育等に関する調査研究を行う。
- ・競技力向上委員会を主体に、銃・短剣道教則改正に関する調査・研究を行う。

3. 銃剣道及び短剣道の技倆に関する資格認定及び称号段位の付与

(1) 段位審査会

ア. 8段審査会

- ・全銃剣連が主催し、会長が指名する審査員11名で構成、有資格者の理論・実技を審査する。
- ・中央開催：平成28年1月31日（日）午後、日本武道館研修センター
- ・地方開催：開催希望ブロック6・7段審査会開催日、審査会開催場所

イ. 6段7段審査会

- ・全銃剣連が主催し、全銃剣連選定の審査員7名以上で構成。
- ・開催時期・場所：各ブロック研修会翌日または最終日、研修会開催場所にて開催

ウ. 5段以下審査会

- ・各都道府県連盟が実施する。

(2) 称号審査会

ア. 範士称号審査会

- ・審査会の構成：称号・段位審査規則第4条（審査会の種類と構成）第2項により構成する。
- ・開催時期：平成27年12月12日（土）午後
- ・開催場所：パールホテル両国

イ. 教士・錬士称号審査会

称号・段位審査規則第4条（審査会の種類と構成）第3項により構成し、実施する。

(3) 指定審判員審査会

ア. A級審判員審査会

- ・主催及び構成：全銃剣連が主催し、会長が指名する審査員11名以上で構成
- ・開催時期：平成28年1月31日（日）午前
- ・開催場所：日本武道館研修センター

イ. B級審判員審査会

- ・主催：全銃剣連
- ・構成：全銃剣連が主催し、全銃剣連選定の審査員7名以上で構成。
- ・開催時期：各ブロック審判研修会時に開催する。

ウ. C級審判員審査会

- ・各都道府県連盟が実施する。

エ. 名誉審判員認定審査

- ・指定審判員規則第 14 条に則り、全銃剣連が実施する。

(4) 段位特別審議会

- ・9 段・10 段審議会は、称号段位審査規則第 9 条に則り、全銃剣連が実施する。

4. 機関誌の発行・銃剣道等に関する図書の出版

(1) 機関誌「剣の心」第 62 号の発行

- ・目的：銃剣道・短剣道に関する情報交換・紹介等により、会員の相互親睦及び修行の資とする
とともに、銃剣道・短剣道普及振興を図る。
- ・発行時期：平成 28 年 3 月

(2) 銃・短剣道に関する図書の出版

- ・銃剣道教則の販売
- ・銃剣道試合・審判規則及び細則の販売
- ・短剣道教則の販売
- ・短剣道試合・審判規則及び教則の販売
- ・ジュニア指導者の手引きの販売
- ・銃剣道 DVD の販売

5. 功労者の表彰

(1) 全銃剣連の行う表彰

「表彰及び感謝状の授与に関する規則」及び「表彰等規則の施行に関する細則」に則り、功労のあった団体・個人に対して審査のうえ以下の表彰、褒章又は感謝状を授与する。

- ・優良都道府県連盟表彰
- ・特別功労章
- ・功労章
- ・優良団体表彰
- ・感謝状

(2) 全銃剣連以外の団体等が行う表彰への推薦

- ・日本武道協議会が行う武道功労者・武道優良団体表彰及び武道少年優良団体の表彰について、候補者を審査のうえそれぞれ表彰候補者を推薦する。
- ・公共団体及び報道機関等からの表彰の推薦依頼があった場合は、全銃剣連で審議したうえで表彰候補者を推薦することがある。

Ⅲ. その他

1. 会議等

- ・平成 27 年度第 1 回通常理事会 : 平成 27 年 5 月 13 日 (水) 午後 パールホテル茅場町
- ・平成 27 年度定時社員総会 : 平成 27 年 5 月 29 日 (金) 午後 ベルサール九段
- ・平成 27 年度第 2 回通常理事会 : 平成 27 年 12 月 12 日 (土) 午前 パールホテル両国
- ・平成 27 年度都道府県連盟事務局長会同 : 平成 28 年 1 月 16 日 (土) パールホテル両国
- ・平成 27 年度第 3 回通常理事会 : 平成 28 年 3 月 18 日 (金) 午後 パールホテル両国

2. 委員会

(1) 競技力向上委員会

- ・5 月及び適宜の時期に開催する。

(2) ドーピング防止委員会

- ・10 月及び適宜の時期に開催する。

(3) 医学・安全委員会

- ・10 月及び適宜の時期に開催する。

(4) 倫理委員会

- ・必要により開催する。

3. 規則等の改正

- ・地区協議会の運営に関する規則等について改正する。

4. 報告等

- ・各県連等の年度別事業報告書・収支決算報告書を平成 27 年 6 月末日までに全銃剣連に提出するものとする。

添付書類：平成 27 年度主要行事予定表

平成27年度 主要行事予定表

H27.5.29現在

月	日	主 要 行 事 名	場 所
4月	19(日)	第59回全日本銃剣道優勝大会	日本武道館
5月	13(水)	平成27年度第1回通常理事会	パールホテル茅場町
	22(金)～24(日)	銃剣道・短剣道青少年指導者講習会 ＜日本武道館と共催＞	日本武道館研修センター
	29(金)	平成27年度定時社員総会	ベルサール九段
	30(土)～31(日)	関東地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	神奈川県立武道館
6月	18(木)～21(日)	東北地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	岩手駐屯地体育館
	20(土)～23(火)	中国・四国地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	徳島駐屯地体育館
	20(土)～23(火)	北海道地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	帯広駐屯地体育館
	26(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・錬士)	全日本銃剣道連盟事務局
	26(金)～28(日)	北信越地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	富山県・富山駐屯地体育館
	27(土)～28(日)	東北地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	秋田県・にかほ市金浦体育センター
7月	10(金)～12(日)	近畿地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	兵庫県・千僧駐屯地体育館
	18(土)～19(日)	東海地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	岐阜県・メモリアルセンター
	18(土)～20(月)	北信越地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	石川県・白山市
	18(土)～20(月)	中国地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	鳥取県・鳥取県立武道館
	18(土)～20(月)	四国地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	愛媛県・愛媛県武道館
	25(土)	第27回全国高校生銃剣道大会	宮城県・岩沼市総合体育館
8月	1(土)～3(月)	九州地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	長崎県・諫早中央体育館
	5(水)	平成27年度全日本少年少女武道(銃剣道)錬成大会 ＜日本武道館と共催＞	日本武道館
	6(木)	第46回全日本青年銃剣道大会	日本武道館
	7(金)	高松宮記念杯争奪 第23回全日本銃剣道選手権大会	日本武道館
9月	4(金)	第70回国民体育大会組合せ抽選会	日本武道館第3小道場
	25(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・錬士)	全日本銃剣道連盟事務局
10月	3(土)～5(月)	第70回国民体育大会銃剣道競技会	和歌山県・海南市総合体育館
	10(土)～11(日)	北海道地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	北海道・美瑛町
	16(金)～18(日)	関東地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	山梨県・北麓公園内体育館
	17(土)～18(日)	近畿地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	兵庫県立武道館
	30(金)	ドーピング防止委員会 医学・安全委員会	全日本銃剣道連盟事務局
	31(土)～11/3(火)	日体協公認銃剣道指導員養成講習会	北海道・東千歳駐屯地

月	日	主 要 行 事 名	場 所
11月	3(火)	北海道地区高段審査会	北海道・東千歳駐屯地
	13(金)～15(日)	第2回全国銃剣道指導者研修会<日本武道館と共催>	日本武道館研修センター
	20(金)～22(日)	東海地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	愛知県・豊川市立武道館
	20(金)～23(月)	九州地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	福岡県・久留米市総合スポーツセンター
12月	12(土)	平成27年度第2回通常理事会	パールホテル両国
	18(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・錬士)	全日本銃剣道連盟事務局
1月	16(土)	平成27年度都道府県連盟事務局長会同	パールホテル両国
	29(金)～30(土)	A級審判員研修会	日本武道館研修センター
	31(日)	A級審判員審査会 銃剣道・短剣道8段審査会	日本武道館研修センター
2月	14(日)	第15回全日本短剣道大会	日本武道館
	26(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・錬士)	全日本銃剣道連盟事務局
3月	18(金)	平成27年度第3回通常理事会	パールホテル両国

※ 公認上級銃剣道指導員専門科目講習会、第2回公認銃剣道指導員専門科目講習会は未定。

銃剣道強化合宿予定表

地 区	月 日	場 所	担 当 県 連
北海道	8/25(火)～26(水)	愛別海洋センター	北海道
東 北	9/12(土)～13(日)	裏磐梯自然環境活性化センター	福島県
関 東	6/27(土)～28(日)	日本武道館研修センター	千葉県
北信越	7/22(水)～23(木)	三条市グリーンスポーツセンター	新潟県
東 海	6/20(土)～21(日)	御殿場市体育館	静岡県
近 畿	7/19(日)～20(月)	福知山市美和荘	京都府
中 国	4/25(土)～26(日)	鳥取県立武道館	鳥取県
四 国	5/30(土)～31(日)	徳島文理大学香川校体育館	香川県
九 州	5/4(月)～5(火)	熊本県立あしきた青少年の家体育館	熊本県